

文京区選出 日本共産党都議会議員 小竹ひろ子

1

東京の街こわしにつながる都市再生法と再開発規制緩和には反対です。大企業などの利益優先の高層ビル建設で、空気汚染、ヒートアイランド化などで住環境が破壊されている都心部だけでなく、文京でも後樂園駅前地区の大型開発計画は、高さ、日影、風害など大問題です。私は、高層ビルの絶対高さ制限導入など規制強化を実現させて、住民の皆さんと連体して、安心して住み続けられる環境、景観、緑を守る街づくりをすすめます。

2

街づくりは住民本位に行うものです。都市計画法や建築基準法など住民参加型に変えるように積極的に国に働きかけ、住民が主人公の街づくりができるようにします。

3

何より住民参加が必要です。住民参加を盛り込んだ法整備、地方分権をすすめる一方で、住民が追い出され環境が破壊される大規模開発の抑制、建物の絶対高さ制限をすすめます。

4

歴史的建造物は建物とその周辺全体を保存することが最良です。一部保存がまったく意味がないとは言い切れません。文京の東大赤門や「銅御殿（旧磯野邸）の隣地の高層ビル建設から守る運動に取り組んでいます。

5

街の景観を守る上からも一定の基準を住民参加で決められたら、ルールある街づくりが進められると思います。伝統ある街の良さを残す形ならばとりくめるのではと思います。

6の1

そのとおりです。住民の合意なしの採決前の変更は絶対に認めないことを徹底させ、採決結果をうけて事業者に対応させるようにすべきです。

6の2

改善が必要です。確認検査を超えた許可の同意や不服審査の審議を行う建築審査会は中立性を保てる立場でなくてはなりません。民間確認検査機関には開発業者やゼネコンなどが出資しており改善すべき問題です。